令和元年 7月8日,12日

ゼロから始めるレポート講座

現代社会文化研究科 修士2年添谷 尚希

「レポート」とは言われたけれど…

- ▶感想文じゃダメ!
- ▶引用と意見は分ける!
- >参考文献はきちんと載せる!

Etc...

しかし! これだけを言われても、書き方はなかなか分からない。

レポートとは何か

- トレポートの要件
- →<mark>客観的かつ論理的な文章</mark>であること。

- トレポートの構成
- →「<mark>問い」,「答え</mark>」,「答えを導くための議
- 論(<mark>理由と根拠</mark>)」

慶応義塾大学日吉キャンパス学習相談員(2014)

レポートの類型

今回は...レポートを書く中で重要になる

- ① テーマを決める
- ②調査する
- ③ 分かりやすい文章を書く
- …について説明します!

レポートの類型

- ▶ 先生から課されるレポートの類型は、概ね以下の5つ。
- 1.授業や本の内容をまとめるタイプ
- 2.課題が出され、それについて調査するタイプ
- 3. 資料やデータから読み取れることを書くタイプ
- 4.授業や本の内容を踏まえ、自分の考えを述べるタイプ
- 5.論文に準ずるタイプ(1~4の要素を全て含む)

レポートの類型

- ▶レポートを書くために、**それぞれの類型で必要なこと。**
- 1.授業や本の内容をまとめるタイプ
 - →<a>3分かりやすい文章を書く (レジュメのコピペはアウト!!)
- 2.課題が出され、それについて調査するタイプ
 - →

 ①テーマを決める、

 ②調査する、

 ③分かりやすい文章を書く
- 3. 資料やデータから読み取れることを書くタイプ
 - →③分かりやすい文章を書く
- 4.授業や本の内容を踏まえ、自分の考えを述べるタイプ
 - →<a>①テーマを決める、<a>②調査する、<a>③分かりやすい文章を書く
- 5.論文に準ずるタイプ
 - →<a>①テーマを決める、<a>②調査する、<a>③分かりやすい文章を書く

今回の講座の対象と、その示し方。

- > 今回の対象: (特に文系の)
- ①レポートを初めて書く1年生
- ②レポートには慣れてきたが、自己流になりがちな2年生
- ③論文を意識し始め、本格的なレポートを課されるようになった3年生
- >スライドごとの重要度・レベルの示し方:
- ★★★→**最低限**覚えておいて欲しい内容
 - **★★**→レポートをよりスムーズに、

よりアカデミックに書きたい時に、参考にして欲しい内容。

★→今までのレポートのレベルを更に上げたい時、

研究・論文への足掛かりにしたい時に、気にして欲しい内容。

本日の目次

- 1.テーマを決めよう!
- 2.調査の計画を立てよう
- 3.調査を進めるために。
- 4.伝わる文章を書こう!
- 5.ツメは重要!!
- 6.雑記

参考文献

1.テーマを決めよう!



- ▶「テーマを決める」とは?
- ①興味のあるテーマを見つける。
- ②そのテーマについて問題意識を明確化する。
- ③明確になった問題意識が、テーマとして**妥当なものかどうか検討**する。

★目標規定文を目指す!

「私はこのレポートで、○○について書く。△△を調べて、□□ という結論を導く。Ⅰ

1.テーマを決めよう!



- ①興味のあるテーマを見つける。
 - ・講義の内容を振り返ってみる。
 - ・知識や関心から情報を引き出す。
- →自分の知識に検索をかける
 - ・入門書を読んでみる。
 - ・簡単にwebサイトなどで情報収集をしてみる。
- →この段階ではWikipediaなどを見ても良い。**が**、あくまで 話題の切り口を探す程度にすること!

①興味のあるテーマを見つける。



【留意点1】授業の内容を踏まえて、<mark>出題意図を考える</mark>。

例:「自由にテーマを決めよ」と言われても、

中国政治史のレポートで、アメリカに関するテーマは、筋違い。

【留意点2】自分の<mark>知識・関心のストック</mark>が重要!

- →そのために...
- ・授業の要点はきちんと覚えておこう。
- ・普段からニュース・新聞に目を通したり、興味のある分野の本 を読んだりしよう。



トストックを増やすコツ

- ★講義、ニュース、読書は漫然とするではなく...
- ・先生が強調しているポイント
- ・授業で紹介された文献や資料
- ・自分が純粋に興味を持ったポイント
- ・疑問や不明に思ったポイント

…をメモする等して覚えておく。

★大切なのは「能動的に情報を整理すること」
そして、「好奇心」!

▶好奇心を持つには??



- ①「自分はこうあるべき」を捨てる。
- ・私は文系だから...
- ・自分は男(女)だから...
- ・自分は陰キャだから...
- ・今までずっと文学に興味があったから...
- ・この程度は理解しているべきだから...
 - →「分からない」=新たなテーマの発見!
- ②「人にどう見られるか」を考えすぎない!
- ・発言したら目立つ...
- こんな質問をしたらバカにされるかも...
- ・ 周りはみんな、○○していないから…

など 13

1.テーマを決めよう!



- ②テーマについて問題意識を明確化する。
- ▶ 「問題意識を明確化」とは??

→自分の興味を掘り下げ、自分が何を疑問に感じているのかをハッキ リさせること。

例:明確化前→「新大生の出身地について」 明確化後→「新大生の出身地が新潟県内に偏るのは何故か」

【注意】これをしないと、調査の際に何をしたらよいかわからなくなったり、文章がまとまらなくなったりする!!

▶具体的には何をすれば良いの??



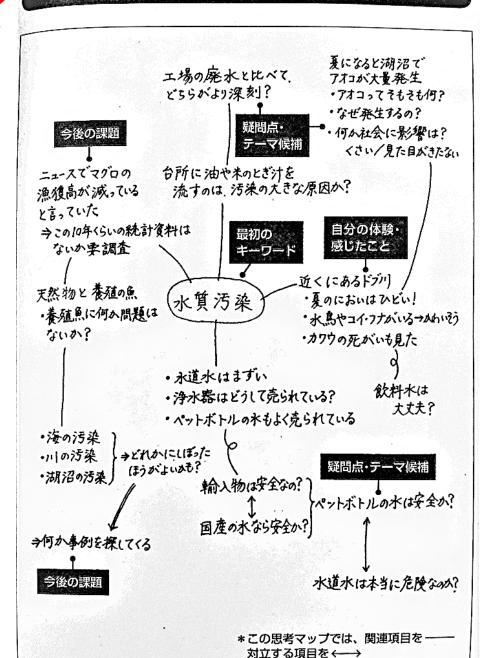
【方法1】:「思考マップ」を作る。

→キーワード(興味のあるテーマ)を中心に、自分の関心・疑問・その他思い付いたことを書き足してゆく。

(連想のゲーム方式)

▶「思考マップ」の具体的な使い方 【手順】

- 1.紙の中心にキーワードを書く。
- 2.キーワードから連想される言葉を周囲に書き、線でつなぐ。
- 3.1,2から連想した言葉を更にその周囲に書き、線でつなぐ。
- 4.紙が一杯になったら不要なものを削除する。
- 5.「テーマ(論点)の候補」になりそうな新しい言葉が浮かんだら、別の紙の中心に書く。
- 6.1~6を繰り返す。



今後の課題を==⇒で表している



【方法2】:「問い」を繰り返す。

具体的には...

・興味のあるテーマに対して、5W1H(いつ?どこ?だれ?何?なぜ?どのように?)を、繰り返し投げかける。

・特に「対象(誰、何)」、「場所」、「時(時代、時期、期間)」は明確にしよう!



- ▶具体例
 - ・興味のあるテーマが「新潟の交通」だったら...

【第1段階】…まず基本的なところから。

- ①いつの話か→ 現代?高度経済成長期?大正時代?近世期?…
- ②新潟とは、どこか→ 新潟市?新潟港?下越?越後国?...
- ③交通とは何か→ 自家用車?バス?路面電車?JR?船?...
- ④交通の、何?→ 問題点?これまでの変遷?利用者数?…



▶ 具体例(続き...)

【第2段階】…第1段階を踏まえ、更に問題意識を絞る。

例えば第一段階の問いの答えが...

- ①:大正時代→ 決定 or 更に時代を絞る...
- ②:新潟港→ 新潟港の何?→ 水揚高?輸出量?船の入港数?…
- ③: 船→ どんな船?→ 蒸気船?貨物船?和船?...
- ④: (これまでの)変遷→ 変遷の何か?→ 特徴?要因?…
- ★このように、「問い」を繰り返し投げかけてゆく。

1. テーマを決めよう! ★★★

③明確になった問題意識が、 テーマとして妥当なものかどう か検討する。

◎検討するポイント

- 1.確認や実証が出来るかどうか
- 2. 資料が入手可能かどうか
- 3.具体的なテーマかどうか
- 4.反論の余地がある内容かどうか
- 5.客観的な判断基準があるかどうか
- 6.自分の知識・技能で扱える内容かどうか

◎検討するポイント



- 1.確認や実証が出来るか。
 - →ダメな例:死後の世界は存在するか。
- 2. 資料が入手可能かどうか
 - →<mark>ダメな例</mark>:ジャワ原人は何を食べていたか。
- 3.具体的かどうか
 - →<mark>ダメな例</mark>:人間とは何か。
- 4.反論の余地がある内容かどうか
 - →<mark>ダメな例</mark>:地域は活性化すべきか。
- 5.客観的な判断基準があるかどうか
 - →ダメな例:日本食は美味しいか。
- 6.自分の知識・技能で扱える内容かどうか
 - →<mark>ダメな例</mark>:(文系の人が)ガン細胞の分裂を防ぐ物質の特徴は何か。

★ここで実践タイム!!!!

~その1~

▶ こんなレポートが出たら、どんなテーマにしますか??

【レポート課題】

授業を聞いて興味深かった点について、自分なりに調査し、自由に論じてください。

- ・条件1:講義の内容は、日本酒についてである。
- ・条件2:講義は通年開講のオム二バス形式で、新潟大学の全学部・全学科の 教員によって持ち回りで行われたものとする。=学部の縛りはない。
- ・条件3:レポートの文字数は、4,000字程度とする。
- ・条件4:レポートの出題から提出期限までの期間は、3週間である。

★ここで実践タイム!!!

- ▶主なチェックポイント
- 1.具体的なテーマですか?

ダメな例:「日本酒の歴史について」

2.調査が可能なテーマですか?

ダメな例:「酒蔵にいる酵母菌の数の経年変化」

→3週間で実地調査は難しいかもしれない。

3.反論の余地があるテーマですか?

<mark>ダメな例:「大学1年生は飲み会の場で日本酒を飲むべきか」</mark>

4.客観的な判断基準があるテーマですか?

ダメな例:「日本酒が新潟県のイメージに対して与える影響力」

2.調査の計画を立てよう ★★★



トテーマを元に、

「何について」、「どのように」調べるのか決める。

要点は2つ!

【要点1】論点を明確にする。

【要点2】具体的に、どのように調べるか決める。

2.調査の計画を立てよう



【要点1】論点を明確にしよう!

- 「論点を明確に」って、どういうこと?
- →「自分が知りたいのは何か」を知ること。
- →「自分がレポートで伝えたいことは何か」を知ること。

★これを行わないと...

どのように調査したらよいか分からず、漫然と資料やデータを集めるだけになってしまう!



具体的には...

- ▶悪い例1:永井荷風の『濹東奇譚』で描かれる東京の下町について調べてみよう。
- ▶悪い例2:新潟市におけるヒートアイランド現象について調べて みよう。
- ◎なぜ悪い??→論点が漠然としている!
- →<mark>調べる対象や調べる範囲が曖昧</mark>なまま...。

このまま調査しても、**資料・文献の内容をまとめるだけになってしまう**可能性も...。



- ▶良い例1:東京の銭湯の経営者は、新潟県出身者が多いらしい。
 - →(論点)じゃあ、横浜ではどうだろうか。

- ▶ 良い例2:日本近海のウミガメの個体数が減少したのはなぜ?
 - → (論点) 海洋プラスチックごみが増加したからかも知れない。

○ 論点がハッキリしているので、調べることも自ずとハッキリしてくる。

2.調査の計画を立てよう



【要点2】具体的に何をするか決めよう!

- ・要点1で明確にした論点をもとにして...
- ①調査方法を決める→文献調査?実験?聞き取り・アンケート?

②調査する対象を決める→どのような分野の文献か。 どのような属性の人・団体に聞き取りをするのか。

Etc...

2.調査の計画を立てよう



▶調査初期におけるコツ

例えば...

- ・同じ分野や、同じようなテーマを扱ったの研究を参考にする。
- → その研究で行われていたやり方を参考にする。
- ◎どんな資料・データを使っていたか。
- ◎どんな調査方法だったか。

※踏襲しても良いし、改善を試みても良い。



▶例:横浜市の銭湯経営者の出身地を知りたい!

- ◎過去の研究ではどんな調査をしていた?
- →銭湯を経営していた人の名簿を用いた研究がある!

★まずは同じような資料を当たってをみる。

3.調査を進めるために



▶調査を進めるにあたって...

①文献や資料の探し方

②資料が上手く出て来ない時は...

①文献や資料の探し方



- ▶ Webサイトから探す
 - ・大学図書館、その他の図書館のOPAC
- CiNii Articles, CiNii Books
- J-Stage
- Google Scholar
- ・国立国会図書館サーチ(全国の図書館の所蔵情報が分かる)
- ・聞蔵 I (朝日新聞の過去の記事が見られる)
- ・各種文書館等の検索サービス,デジタルアーカイブなど



「リサーチ・ナビ」に関するアンケートを実施しています。皆さまのご意見をお聞かせください。アンケートに答える

リサーチ・ナビについて

リサーチ・ナビの使い方

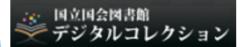
国立国会図書館に行く

図書館にきく











🦠 調べ方案内

リサーチ・ナビへようこそ

様々なテーマごとに、調べもののノウハウを提供します。 →調べ方案内メインページ

全般

▶ 調べ方一般

■ 出版・ジャーナリズム・図書館情報学

社会科学

■ 政治・法律・行政

■ 経済・産業

■ 社会・労働・教育・スポーツ

自然科学

▶ 科学技術・医学

人文科学

▶ 歴史・地理

■ 哲学・宗教

■ 芸術・言語・文学

▶ 児童書

🔷 専門室のページ

国立国会図書館の各専門室が所管する特色ある情報源・資

🗨 テーマ別データベース

目次や内容など、多彩な切り□で資料を検索できます。

キーワードを入力

検索 →詳細検索画面

English

■ 参考図書紹介 *

■ 目次データベース*

▶ 近代日本軍事関係文献目録※

近現代日本政治関係人物文献目録*

■ 企業・団体リスト情報 *

■ 科学技術論文誌・会議録データベース*

■ 日本人名情報索引(人文分野)データベース*

■ 新聞紙名変遷情報

■ 布川文庫逐次刊行物

▶ 外国語に翻訳刊行された日本の児童書情報

▶ 近代日本刊行楽譜総合目録 洋楽編

*印の付いたデータベースのみ、上の検索窓で一括検索でき ます.

調査を進めるために



この文章で連想する

この書棚で連想する

削除す

「銭湯」の連想結果(全1449件)



銭湯へ行こう

町田忍 編著 TOTO 19922



銭湯検定公式テキスト1

日本銭湯文化協会 編:町 田忍 米山勇 監修 草降社



銭湯の謎

町田忍著 扶桑社 2001.11



* 銭湯

町田忍著 ミネルヴァ書房 2016.6

▼写真 □概要



銭湯養牛訓:「熱い」「深風 呂」があなたの体を強くす

神藤啓司 著 草降社 20136



How to Take a 日本の銭湯ガイド

給木一功 著 IBCパブリッシング 2015.12



銭湯浪漫: 湯気の中に人 情が

中屋保著 文芸社 20001



秋山浩司 [著] ポプラ社



ひつじの京都銭湯図鑑

大武千明 著 創元社 2016.2



笠原五夫 著 里文 201611



銭湯読本: The new life wit h sento

Sento style推進委員会 編 町田忍 監修 角川書店、アーティストハウ スパブリッシャーズ



京都極楽銭湯読本

林宏樹 著 淡交社 2011.4

連想ワードで絞込み

衛生設備 🔥

銭湯

風呂

風呂屋

スーパー銭湯

資源 🙉

日本

温泉

タイル

ペンキ

人物

マギー司郎

銭湯愛好会

銭湯探偵団

日本銭湯文化協会

行為

入浴

建築

行<

巡口集と

3.調査を進めるために



▶ 2.テーマや資料を限定しすぎているかも!?

【解決法1】視野を少し広げてみる。

- →「問題意識を狭める前」の段階に戻ってみる。
- →「なぜその資料が欲しいのか」に立ち返ってみよう!

【解決法2】自分の問題意識や仮説に拘り過ぎない。

- →別の資料・データから論証できないか考える。
- →自分の思い描く仮説や論証過程が正当か考え直す。

3. 調査を進めるために



>3.その他の検索テクニック

【解決法】「キーワード+ドメイン」で検索。

- →.ac.jp(教育機関)
 - .go.jp(政府機関)
 - .lg.jp(地方公共団体)

例)子育てに関する政策について知りたい...

→「子育て.go.jp」で検索。

★ここで実践タイム!!!! ~その2~

▶「その1」で決めたテーマについてキーワードを決め、 実際に、簡単に調べてみよう!

・テーマは?

·**キーワードは?**(いくつか候補を)

★出てきた文献・資料は??

★ここで実践タイム!!!!

- ▶主なチェックポイント
- 1.テーマは何ですか?
- 2. あなたが知りたいことは、具体的に何ですか?
- 3. それは、どのような方法で調べますか?
- 4. 調べるためのキーワードは何ですか?
- 5.知りたいことに関連する情報

(本・論文・資料・データなど)は、見つかりましたか?

4. 伝わる文章を書こう!

 $\star\star\star$

- ▶レポートを読む相手を考えて書く!
 理解しやすい文章を書くために…
- ①論理的な文章を書こう!
 - 1.文のアウトラインを作ろう。
 - 2.自分の考えには、分かりやすく根拠を示す。
- ②理解しやすい文章を書こう!
 - 1.無駄な情報は削ろう。
 - 2.一文は短く、簡潔に。
 - 3.何を書くのか前もって知らせる。
 - 4.一言一句の意味を大切に。
 - 5.あいまいな表現、人によって感じ方が異なる表現は避ける。

39

4. 伝わる文章を書こう!



- ①論理的な文章を書こう!
- 1.文のアウトラインを作ろう
- ▶アウトラインとは…文章の道筋のようなもの。
- どのような流れで結論に行きつくかを考える。
- →序論・本論・結論で何を書くか。

例: 【アウトラインのメモ】

- 課題:大阪大学総合図書館について
- 自分の問題意識:他の図書館と比べた特徴は?
- **言いたい結論:**国立大学で3番目の広さがあり、学習支援の仕組みが充実している。
- 根拠となる資料:図書館の要覧、他大学の図書館のwebデータなど

【アウトライン構想=文章の流れ】



- ▶ 序論:1.問題の所在(なぜテーマをそれにしたのか)
 - 2.図書館の概要紹介 (扱う対象の前提条件を説明)
- ▶本論:1.資料や事例の紹介
 - 2.広さ・学習支援の事例・他大学との比較(根拠を得る過程)
 - 3.得られた知見の説明 (伝えたいことの根拠を説明)
- ► 結論:内容をまとめ、考えを述べる。 (レポートで伝えたいこと)
- (伝えたいこと:〜の理由から、国立大学で3番目の広さがあり、学習支援の仕組みが充実している。)
- ◎論理的に正しいか、分かりやすいかどうかが、自分で分かる。

▶ ①論理的な文章を書こう!



2.自分の考えには分かりやすく根拠を示す!

なぜそう考えるのか、分かりやすく示す。

(文章の一例)

・・・・・について筆者(=自分)は、○○であると考える。 その理由は、資料△△に~という記述があり、 同様の事実は、過去の研究でも指摘されているからである。

※「~であると感じた。」、「~だと思う。」だけでは、

客観的な根拠がないので、考えとは言えない。42

①論理的な文章を書こう!



2.自分の考えには分かりやすく根拠を示す!

- ・主な<mark>論証の方法</mark>
- ▶ 演繹……根拠ある確かな前提から、推論によって結論を説明する方法。
- 例) 前提1:人間は死ぬ→前提2:Aさんは人間である→結論:Aさんは (いずれは) 亡くなる
- ▶ 帰納……たくさんの事実を挙げ、その共通する事項をもとに結論を主張する方法。
- 例) 事実:人間A·B·Cが亡くなった→仮説:人間は死ぬ→「人間Dが亡くなった」という事実を踏まえて、「人間は死ぬものだ」という結論を導く。
- ※<mark>片方に偏ると、論証を誤る場合がある</mark>。
- 例)前提1:チョキよりグーの方が強い 前提2:グーよりパーの方が強い
 - 結論:チョキよりパーの方が強い←<mark>誤り</mark>!

4. 伝わる文章を書こう!



- ②理解しやすい文章を書こう!
- 1.無駄な情報は削ろう。
- レポートを書いた感想
- 例) ○○のレポートを通して、△△ということが分かり、勉強に なった。
- ▶説明するまでもない事の説明

例)「平成の30年間における都市の温度上昇」について書いたレポートで、「平成」とは昭和の次の元号で…などの情報は不要。

- ②理解しやすい文章を書こう!
- 2.文は短く、簡潔に。



- ▶長過ぎる文は読みにくく、理解しにくい。
- →

 一文は、長くてもA4判10.5ポイントで3行程度
に!
- ▶回りくどい表現は避ける。
- 例)「分析を行う」→「分析する」etc...
- ▶専門用語や、あまり用いない熟語・カタカナ語の多用は
- 自己満足に過ぎない!!
- →高校生でも、大まかな内容が理解できるのが理想。

②理解しやすい文章を書こう!



- 3.何を書くのか前もって知らせる。
- ▶段落・節・章は、話題の単位。
- →それぞれの話題の単位では、

冒頭に何のことを述べるのかを書こう!

※レポートは、文学的な表現ではない。

理解のしやすさが重要!

②理解しやすい文章を書こう!

 $\star\star$

- 4.一言一句の意味を大切に。
- ▶レポートで用いる言葉は、一つひとつ、

「意味付け」や「定義」を確認する。

→レポート中の言葉は、自分で説明できるようにしよう!

ト同じ意味の言葉は、

レポート内での<mark>表記を統一</mark>する。

→「食料」と「食糧」

「統治」と「ガバナンス」

「場所」と「空間」 など…

分野によっては別の意味に解釈される場合も!

- ②理解しやすい文章を書こう!
- 5.あいまいな表現、
 - 人によって感じ方が異なる表現は避ける。



- ▶「~など」や「~等」は、極力使わない。
 - →含みを持たせると、<mark>「他には何があるのか?」と問われる</mark>。
- ▶「~と言っても不思議ではない」、「~に違いない」なども同様。

- 「美しい」、「一般的な~」、「~が多い」などの表現は、 人によって<mark>感じ方が異なるので避ける。</mark>
 - →客観的な指標や、具体的な例を示す。

5.ツメは重要!!



- ▶ 最後に必ず確認しよう!
- ①分量はOK?
 - →<mark>規定の8割は書こう</mark>(「2000字程度」なら、1800~2200字の間で!)
- ②参考文献の示し方はOK? (※文章・注記に登場しないものは記載不要)
 - →書籍の場合:著者名,『書名』,巻号,発行社,発行年
 - →記事の場合:著者名,「記事名」,発行者,『雑誌名』,巻号,発行社,発行年,該当頁
- ③引用・参考の仕方、意見との区別はOK?
 - →引用:「」で括って、著者・年・ページ数。
 - →参考:~と述べている(著者名・年)。
- 4情報の信頼性はOK?
 - →論文、研究者の記した書籍、確かな資料を使う。Wikipediaは使えない!!
- ⑤誤字脱字のチェックはOK?
 - →周囲の人に読んでもらおう!

6.雜記



- ▶私の経験から...
- ①早め早めの行動を!
- ★面倒なレポートほど先延ばししがち。
- ★学期末は忙しくなる!
- ②焦らない方が良い!
- ★<mark>焦ると考えが纏まらない</mark>。テーマすら決まらなくなることも...
- ③積極的に人と話をしよう!
- ★自分には無い意見・ひらめき・情報を得られる。
- ★誤字脱字·文章の分かりやすさ·論理性のチェックは、他人の視点がとても重要!!

参考文献

- ◎吉田健正『大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方』、ナカニシヤ出版、1997年
- ◎石井一成『ゼロからわかる 大学生のためのレポート・論文の書き方』、ナツメ社、2011年
- ◎慶応義塾大学日吉キャンパス学習相談員『学生による学生のためのダメレポート脱出法』、慶応義塾大学出版会、2014年
- ★堀一成,坂尻彰宏『阪大生のためのアカデミック・ライティング入門』大阪大学全学教育推進機構,2014年
- ★日本地理学会編『地理学評論原稿執筆要領』、日本地理学会、2016年
- ◎酒井聡樹『これからレポート・卒論を書く若者のために』第2版、共立出版、2017年
- ◎:新大図書館に所蔵あり
- ★:インターネットからダウンロード可能

【続いて、実践編!!】

★ここから実践編!!!!

>実際にレポートを校正してみよう!!

) 分からないことは、サポーターに聞いてみよう!